

研究構想

学校教育目標 夢と志を持ち、共に高め合う児童の育成

育成を目指す資質・能力

- ・知識及び技能
- ・思考力・判断力
- ・表現力
- ・やりぬく力（主体性）

〈めざす子ども像〉

- ① 自ら考え、行動する子
- ② やりぬく子
- ③ 郷土を愛する子

地域や保護者の願い

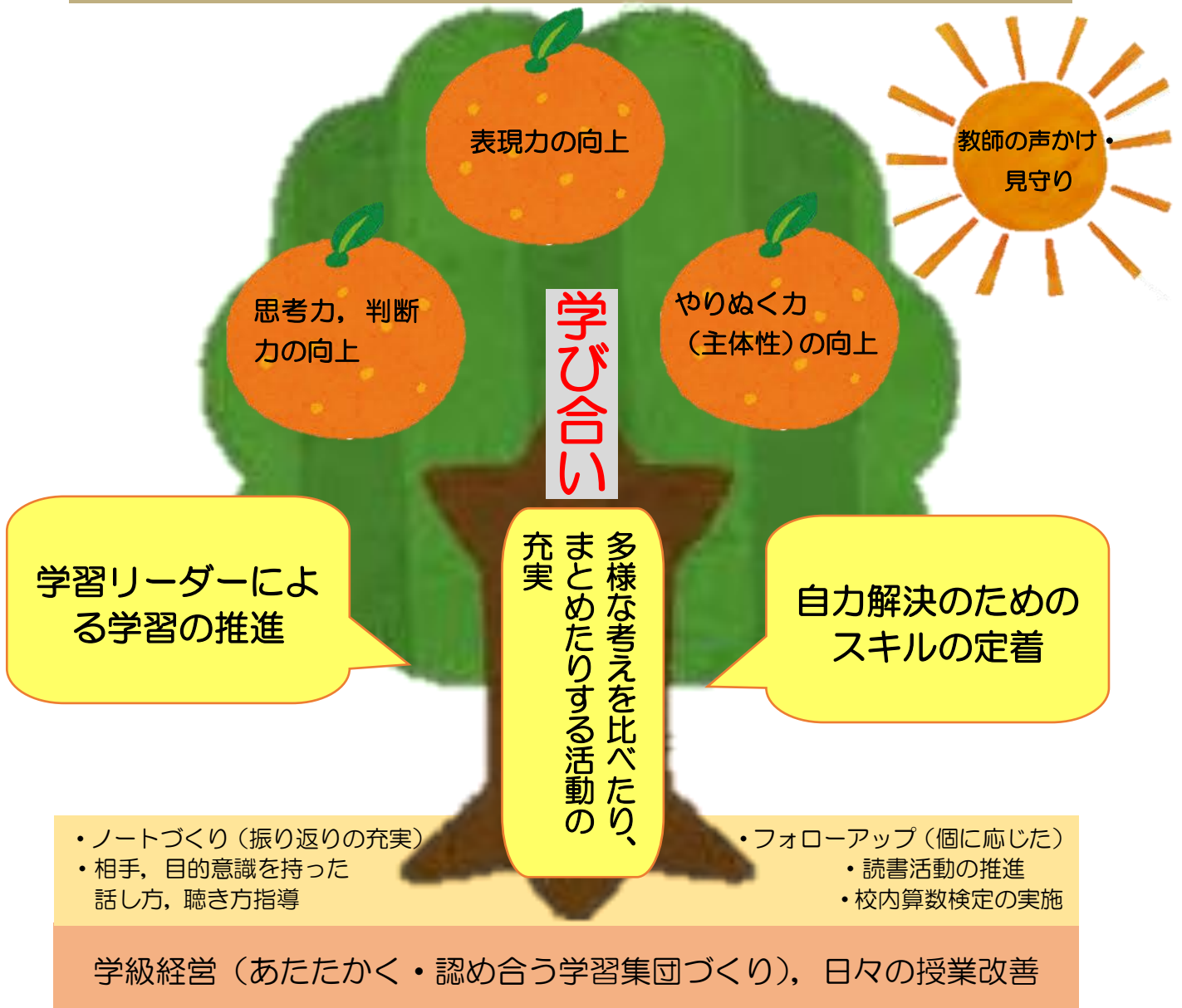
- ・基礎学力の充実
- ・豊かな心
- ・健やかな体と体力
- ・強い心

〈小・中連携〉
二中学区小中連携

研究主題 「分かる」・「できる」を実感する算数科の授業の創造

～主体的に考え、表現する児童の育成を目指して～

研究仮説 主体的に考え、表現する指導の工夫を行えば、児童は、「分かる」「できる」を実感することができるであろう。



研究の概要

【研究テーマ】	「分かる」・「できる」を実感する算数科の授業の創造 ～主体的に考え、表現する児童の育成を目指して～
【目指す成果】	児童自身が「分かる」「できる」を実感・やりぬく力、表現力の 向上・教職員の確かな教材分析と授業力向上
【本校で育成したい資質・能力】	○知識及び技能 ○思考力・判断力 ○表現力 ○やりぬく力（主体性）

児童の実態

・全国学力 国語60%（全国▼6%） 算数62%（全国▼7%）

・標準学力調査（標準スコア）国語

1年	2年	3年	4年	5年	6年
53.7	53.8	46.6	58.6	58.0	55.6

算数

1年	2年	3年	4年	5年	6年
55.5	50.3	48.9	56.1	57.4	54.1

・算数科単元末テスト

知・理 90.6% 技能 88.2% 思考 82.3%
（目標値 知・理 90% 技能 90% 思考 80%）

・算数児童アンケート
算数が好き…85.7%
算数の授業が分かる…92.9%
自分の考えを書く…92.9%
自分の考えを説明する 90.5%
学んだことを生かしたり、習ったことを
使って考えたりしている…85.7%

・算数科単元テストの「表現・処理」がわずかに目標値に
到達していないこと、標準学力テストの標準スコア前年
度比が昨年度より下回ったことから、活用のベースとな
る基礎的な学力や、必要な情報を取り出して、説明する力に依然として課題がある。

【研究概要】

1 研究仮説

「主体的に考え、表現する指導の工夫を行えば、児童は、「分かる」「できる」を実感することができるであろう。」

2 主体的に考え、表現する指導の工夫

（1）学習リーダーによる学習の推進

単式学級でも、複式学級でも、教師主導ではなく、学習リーダーを中心に自分達で学習を進める授業を展開する。

（2）自力解決のためのスキルの定着

教師から問われなくても、「問題を把握する」・「既習事項と関連させて、問題解決の方法を見通す」・「言葉、式、図等を用いて考え、答えを導き出す」といった自力解決をするためスキルの定着を図る。

（3）多様な考えを比べたり、まとめたりする活動の充実

集団解決時には、相互の考えを広げ、深められるように、多様な考えを統合したり一般化、発展させたりする場の充実を図る。

3 研究を支える取組

- ・教職員同士の教材分析と板書交流、児童間授業交流
- ・相手・目的意識を持った聞き方、発表の仕方の指導
- ・ノートづくり（ノートモデル、ノート交流や掲示、表彰）
- ・フォローアップの時間の確保・内容の工夫
- ・校内算数検定で基礎力・計算力の定着
- ・読書活動の推進

【成果指標と目標値】

- ・算数科単元末テスト 技能・知識理解 90%以上、思考力 低 90%、高 80%以上
- ・算数科標準学力調査 標準スコア前年度比+0%以上、全国比+4%以上
- ・学習・算数 児童の自己・相互及び教職員アンケート 肯定的評価 85%以上

